大窪山森林公園のヒメホタル

ヒメボタル

和名：ヒメボタル　学名：Hotaria parvula

●全長：8mm前後

●見られる時期　：７月上旬～中旬。
高温多湿の風のない夜。19時半～20時半ころ。

●生態：自然環境の良い湿潤な森林内で見られるホタル。全体的に黒色で胸部は淡赤色。幼虫は森林内の地面で生息し肉食性で陸生貝類を捕食する。
ゲンジボタルやヘイケボタルよりも発光が小さいが、黄色に激しく点滅する。オスは飛翔しながら発光するが、メスは草木につかまった状態で発光する。

●希少性：いわてレッドデータブックDランク
北上高地や奥羽山脈に広く生息する。国内では本州、四国、九州に分布するが、各地で減少傾向にある。

ホタル観察の注意事項！

●寒くない服装で！夜露に濡れます。

●光るものすべて禁止！ホタルは光を嫌います。
カメラのフラッシュ厳禁！スマホの画面OFF！
懐中電灯は非常時のみ。

●写真はスマホやコンパクトカメラには写りません！
三脚に固定した一眼レフのみ。（露光時間３分以上）

●クマやシカもたくさんいます。気を付けて！




聖徳学園理科教材より



観察のポイント

昼間のうちに下見しよう！

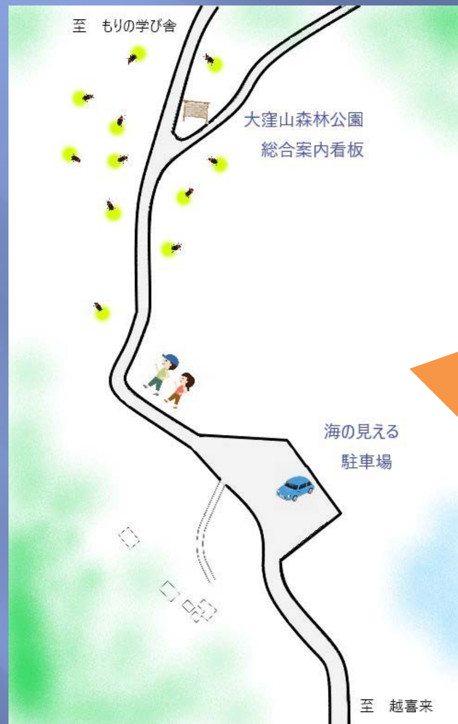
夜は街灯などの明かりは一切ありません。
明るい昼間のうちに、道路、駐車場、観察路を確認しましょう。
「もりの学び舎」で情報を得ることもできます。
国道45号線から一車線の舗装道路を、車で20分ほど走ると、夏虫山付近の道路沿いに海の見える小さな駐車場があります。
車はここに停め、徒歩でホタルのいる場所へ向かいます。
150mほど歩くと、大きな総合案内看板「大窪山森林公園案内図」が建っています。
この付近がヒメホタルを最も良く見ることができる場所です。

さあ観察にでかけよう！

夕方7時30分、完全に暗くなる前に、海の見える駐車場に到着しましょう。
ここから歩きます。
寒くなるので上着を着ましょう。空の明かりでライトが無くても歩けますが、非常時に備え懐中電灯などを持ちます。
駐車場から総合案内看板へ歩いていくと、途中からキラッ、キラッ、とヒメホタル特有の閃光が見え始めます。
夜8時には真っ暗闇になり、あたり一面たくさんの光が点滅し、ヒメホタルのイルミネーションに包まれます。
夜8時30分頃になると、光の数が減少してきます。ヒメホタルの活動は、日没後１時間で終わります。
帰り道はシカに注意して山を下りましょう。

ヒメホタル観察コース





至　もりの学び舎
大窪山森林公園
総合案内看板
海の見える
駐車場
至　越喜来



大窪山森林公園　もりの学び舎　周辺図
機能
釜石市
大船渡市
もりの学び舎
野鳥観察小屋
散策路
あづまや
総合案内板
大窪山
夏虫山
•716
吉浜川
後山
三陸町吉浜
吉浜ＩＣ
大野
平根
中井
河内
□夏虫の湯っこ
浦浜川
大江田
横石
羅生トンネル
羅生峠
三陸自動車道
45
畳石
三陸ＩＣ
E45
大畑野
大峠
道の駅
三陸駅
三陸町越喜来
表示値の説明

